

# 商工会地域の業況は、製造業、建設業が大幅に悪化、来期は依然として厳しい状況が続く!?

—2019年10月～12月期 中小企業景況調査報告書概要—

日銀が2019年12月13日に発表した12月の企業短期経済観測調査(短観)によると、企業の景況感を示す業況判断指数(D・I)は、大企業・製造業が前回9月の調査から5ポイント悪化し±0となった。米中貿易摩擦の影響で外需の低迷が続き、4四半期連続の悪化となる。また、2013年3月調査のマイナス8以来約、6年9ヶ月ぶりの低水準となった。アジア向け輸出が低迷する自動車や鉄鋼の他、東京五輪の建設需要が一巡した窯業・土石製品などが悪化した。大企業・非製造業の業況判断指数はプラス20で、前回調査から1ポイント悪化した。消費税増税の影響で、小売が低迷したが、ラグビーワールドカップの特需を受け、宿泊・飲食サービスが改善した。中小企業の業況判断指数は、製造業が前回9月調査のマイナス4から大企業と同じ5ポイント悪化してマイナス9となった。非製造業も前回調査のプラス10から3ポイント悪化しており、大企業よりも悪化幅が大きくなっている。

3か月後の先行きの見通し(2020年3月予測)は、大企業・製造業が±0と足元から横ばいとなる。半導体やスマートフォンなどIT関連の需要回復が見込まれる一方、世界経済の不透明感は続く。非製造業はプラス18で足元から2ポイント悪化となる。消費税増税の個人消費への影響を懸念する声が残る。中小企業においては、製造業が今期よりも3ポイント悪化しマイナス12、非製造業は6ポイント悪化しプラス1を予測しており、大企業以上に厳しさが増すと予測している。内閣府が2019年12月20日に発表した12月の月例経済報告におい

ては、国内景況の総括判断は「景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している」と下方修正した。自動車や自動車関連部材の生産が落ち込んでいることを踏まえ、生産の判断を「一段と弱含むでいる」に引き下げたことが総括判断を下方修正させた。

商工会地域の景況調査においては、今期(2019年10月～12月)の業況に関するD・I値は、小売業が前期と比べて1.2ポイント改善してマイナス45.0となった。しかし、製造業は前期と比べて22.2ポイントと悪化してマイナス36.1、建設業は25.0ポイント悪化しマイナス25.0、サービス業は12.2ポイント悪化してマイナス20.5となっており、いずれも大幅に悪化しており、厳しさが増している。

来期(2020年1月～3月期)の業況予測については、今期22.2ポイントと大幅に悪化した製造業が今期実績から6.7ポイント改善しマイナス29.4、小売業も5.0ポイント改善しマイナス40.0を予測している。建設業は今期実績から横ばいのマイナス25.0、サービス業は今期実績より1.5ポイント悪化しマイナス22.0と予測している。

商工会地域の景況感、製造業、建設業、サービス業が前期に比べて大きく悪化し、小売業だけは改善しているもののD・I値は全業種の中で最も悪く、全般的には非常に厳しい状況となっている。来期予測では製造業と小売業が小幅な改善を予測しているが、D・I値のマイナス幅は大きく、景況感に大きな変化はなく、来期も厳しい状況が続くと思われる。

(中小企業診断士 橋本大輔)

## 業界天気動向図

項目	売上				採算(経常利益)				資金繰り							
	年月	2019	1	4	7	10	2019	1	4	7	10	2019	1	4	7	10
業種	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10
	2	5	8	11	2	5	8	11	2	5	8	11	2	5	8	11
	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
製造業																
建設業																
小売業																
サービス業																

各項目については次により表示した。

区分	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少	大幅に減少
	好転	やや好転		やや悪化	悪化	非常に悪化
D I 値(前年同期比)	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0	△35.1～
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点

(数値の左は前期構成比、右は当期構成比を記す)

業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	1位にあげる問題点		2位		3位		4位	
	需要の停滞		生産設備の不足・老朽化		熟練技術者の確保難		原材料価格の上昇、人件費の増加	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
	19.4	27.3	22.2	18.2	5.6	12.1	8.3	9.1
建設業	1位		2位		3位		4位	
	1位にあげる問題点		2位		3位		4位	
	官公需要の停滞		民間需要の停滞		従業員の確保難		材料価格の上昇	
	材料費、人件費以外の経費の増加、取引条件の悪化							
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
	30.0	30.0	0.0	25.0	20.0	20.0	20.0	15.0
小売業	1位		2位		3位		4位	
	1位にあげる問題点		2位		3位		4位	
	大型店・中型店の進出による競争の激化、購買力の他地域への流出		店舗の狭隘・老朽化		消費者ニーズの変化、需要の停滞			
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
	16.7		18.9		11.1	13.5	--	10.8
サービス業	1位		2位		3位		4位	
	1位にあげる問題点		2位		3位		4位	
	利用者ニーズの変化		店舗施設の狭隘・老朽化		需要の停滞		材料等仕入れ単価の上昇	
	従業員確保難、その他							
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
	11.4	19.1	27.3	14.9	13.6	12.8	11.4	10.6
							--	8.5